

No. 0058

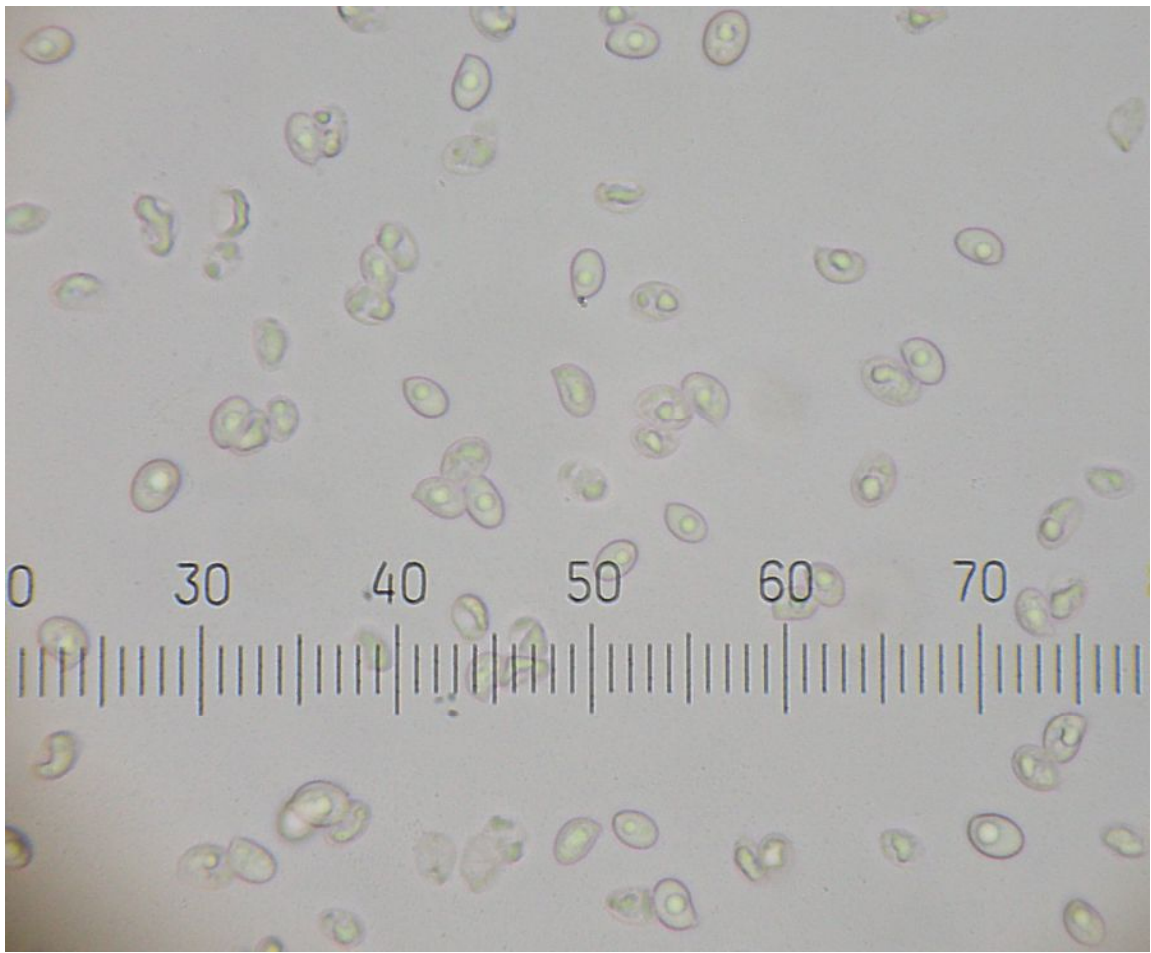
オオシロアリタケ

*Termitomyces eurhizus* (Berk.) R. Heim









室井氏撮影

●傘は径 6.0-8.0cm, 饅頭形～平らな饅頭形で中心は常に突出し, 先端は尖り, 縁は成長するにつ

れて裂ける;表面は繊維紋となりやや繊維状,中心部では斑点状に窪み,縁では溝状に窪むことが多く,粘性及び吸水性はなく,中心は灰褐色,縁では淡くなる.

●柄は下部で切れた状態で 16-19×0.7-1.1cm, 下部でやや便腹状になり,中心性,中実;表面は平滑であるがやや繊維状,中～下部でやや繊維が少し付着し,上部は白色,下部では帯茶白色.

●ヒダは密,湾生,幅 0.4-0.5cm,白色,小ヒダがある,縁は鋸歯状.

●肉は厚さ 0.7-1.0cm,傘・柄部ともに白色,質はわりと丈夫,特別な匂いはないが,やや甘みを感じる.

●孢子紋は白色

●孢子は大きさ 7-8.5×4.5-6.0 μm, Q 比 1.3-1.9,無色,楕円形～広楕円形,非アミロイド.

はじめは幸徳がトガリアリヅカタケ?と同定していましたが、高橋春樹氏に写真を確認してもらい、オオシロアリタケという返事をいただきました.

その時の氏のコメントを掲載させていただきます.

「傘の中丘がやや円錐状に突出していますが、オオシロアリタケにも同様の性質が見られ、お写真から判断する限り、トガリアリヅカタケよりもむしろオオシロアリタケに近いように思われます。ちなみに昨年(2010年)の6月は石垣でもオオシロアリタケが大発生しました。オオシロアリタケは形態的に変異の幅が大きく、トガリアリヅカタケはオオシロアリタケの一型とも考えられ、今後東南アジアおよび中国などの近隣諸国の標本の比較を含めた再検討が必要と考えております。

Wei et al. (2009. Revision of Termitomyces in China. Mycotaxon 108: 257-285) によれば、トガリアリヅカタケは傘の中丘が著しく突出した円錐形なり、偽根は類白色～淡色(オオシロアリタケは帯黒色)で、子実体はオオシロアリタケに比べ相対的に小型(通常傘は径10cm以下)とされております。掲載されているお写真の標本は残念ながら偽根が取れていて色は比較できませんが、傘の中丘の形状から判断するとオオシロアリタケに近いようです。」

採集日 2010年6月16日

採集場所 沖縄県竹富町(西表島)

採集環境 氾濫台地地表

採集者 室井哲夫氏

同定者 高橋春樹氏

標本番号 KS0040